

美波町 議会だより

第41号 平成28年6月定例会

議長・副議長就任のご挨拶 … p2

6月定例会の概要 …… p3

一般質問 …………… p5



議長・副議長就任のご挨拶



議長
川尻 竹藏

町民の皆さんには日頃より議会に対し深いご理解とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

5月20日、臨時議会において議長に選任され、就任いたしました。その責務を肝に銘じ、専心努力する所存でございます。

私にとりましては、誠に光栄でありますと共にその責務の重大さを痛感しているところであります。町民の皆様方の付託を受けた議会として、安全で安心して暮らせる町づくりを目指し、町発展の為、その責務に邁進する所存でございます。今後とも、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長
舛田 邦人

この度の臨時議会におきまして、議員の皆様から副議長のご推挙を賜り、その責務の重さを深く受け止め、今後は副議長としての職務を遂行し、議長の補佐役として、町政の推進と議会の公正かつ円滑な運営に果敢にして誠実に取り組んでまいります。

皆様におかれましては、今後ともご指導くださりますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

◆ 委員会構成 ◆

委 員 会		委 員 名 (順不同)
常任委員会	総務産業建設委員会	◎丸龍 孝敏 ○松本 晋児 ・江本 昇 ・川尻 竹藏 ・寺下 博子 ・永本善次郎
	文教厚生委員会	◎向山 篤宏 ○岩瀬 公 ・戎野 博 ・北山 朝彦 ・舛田 邦人 ・中川 尚毅
	議会運営委員会	◎寺下 博子 ○江本 昇 ・戎野 博 ・丸龍 孝敏 ・松本 晋児 ・向山 篤宏
特別委員会	議会広報特別委員会	◎松本 晋児 ○寺下 博子 ・丸龍 孝敏 ・舛田 邦人 ・向山 篤宏
	テレビ中継特別委員会	◎戎野 博 ○永本善次郎 ・北山 朝彦 ・寺下 博子 ・中川 尚毅 ・向山 篤宏
	防災対策特別委員会	◎丸龍 孝敏 ○松本 晋児 ・江本 昇 ・寺下 博子 ・永本善次郎 ・舛田 邦人
	医療特別委員会	◎江本 昇 ○岩瀬 公 ・丸龍 孝敏 ・北山 朝彦 ・寺下 博子 ・中川 尚毅
海部郡特別養護老人ホーム事務組合議員		川尻 竹藏
海部郡衛生処理事務組合議員		川尻 竹藏
海部老人ホーム町村組合議員		川尻 竹藏
海部消防組合議会議員		川尻 竹藏
国民健康保険運営協議会委員		川尻 竹藏 ・向山 篤宏 ・岩瀬 公
議会選出監査委員		北山 朝彦

◎：委員長 ○：副委員長

6月定例会の概要

平成28年第2回定例会は平成28年6月13日から6月17日まで5日間開催しました。

影治町長より、3月議会以降の町政の進捗状況及び定例会に提案されている報告3件、補正予算議案4件について提案理由の説明がありました。

議案の内容

◆報告第2号 平成27年度美波町一般会計

繰越明許費繰越計算書

(繰越事業全体では17事業で翌年度繰越額の総額は88,376千円)

【事業内訳】

(総務費)

- ・ 空き家再生等推進事業 12,816千円
- ・ 美波町固定資産台帳整備事業 6,588千円
- ・ 自治体情報セキュリティ強化対策事業 51,389千円
- ・ 地方創生事業 6,139千円

- ・ 地方創生加速化交付金事業 13,121千円
- (民生費)
- ・ 高齢者福祉施設等防災減災促進事業 10,000千円

(衛生費)

- ・ 簡易水道事業特別会計繰出金 4,400千円
- ・ 医療体制整備事業 513,172千円

(農林水産業費)

- ・ 農林漁業体験施設整備事業 1,310千円
- ・ 国土調査事業 17,860千円
- ・ 漁港建設事業 56,000千円
- (土木費)
- ・ 道路維持事業 13,000千円
- ・ 県急傾斜地崩壊対策事業 3,000千円

- ・ 公共下水道事業特別会計繰出金 8,800千円
- (消防費)
- ・ 災害対策事業

76,594千円

- ・ 総合的な安全・防災基盤整備事業 82,388千円

(災害復旧費)

- ・ 公共土木施設災害復旧事業 11,800千円

●総務費

質疑

地方創生加速化交付金事業で一般会計の補正でも計上されているが、どの部分が繰越事業になるのか。

答弁

門前町再生に絡んだ基礎的な調査を行う調査委託料、門前町再生に係る取り組みの中でパッケージデザインを考えていく委託料、門前町再生での試作品製作委託料、観光協会への外国人対応人材配置委託料、浜作跡地の測量調査費、道の駅の倉庫類整備の工事請負費等を計上している。

●農林水産業費

質疑

木岐聖ヶ丘の浴室は整備されていると思うが、薪風呂の目的は。

薪風呂の目的は。

答弁

事業申請のヒアリング時に、国から浴室については不足するならば、体験目的を含めた薪で焚く風呂を後で付加するように言われていた。農林漁業体験施設という名目ではあるが、津波が起こった時の2次避難場所であり、復旧復興の拠点という要素がある。

◆報告第3号 平成27年度美波町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

(総額14,097千円)

- ・ 水道未普及地域調査委託業務 1,000千円
- ・ 平成27年度木岐白浜配水管更新工事 4,172千円
- ・ 平成27年度由岐配水地更新工事実施設計委託業務 8,925千円



徳島文理大学門前町サテライトオフィス開所

質疑

水道未普及地域調査委託料は山河内地区でと聞いているが、中心となるのはどこなのか。

答弁

白沢地区を含め3地域を予定している。

◆報告第4号 平成27年度美波町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

(総額40,000千円)
・公共下水道整備事業
40,000千円

◆議案42号 平成28年度美波町一般会計補正予算(第1号)

(歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ59,593千円を追加し、歳入歳出の総額を7,089,593千円とした補正予算)

●議会費

備品購入費、防災服の使

用目的はどのようなものか。

答弁

訓練を含む災害時、また他への支援に行かれる時などに使用すると聞いている。

●総務費

質疑

地方創生の事業関連で、赤松人形浄瑠璃の復活や門前町の改良など特区申請が、住民不在の特区の在り方のように思えるが。

答弁

特区については、徳島文理大等との連携事業を進める中で、並行して特区申請をしたところ選定されたという経緯があり、地域住民と一緒にやって行くことにより地域の活性化や学生との交流や将来

移住に繋がることを目的としている。

質疑

図書館費の修繕費、115万1千円の内容について。

答弁

エレベーターの修繕に72万円、故障中の女子トイレを洋式に改修と身障者トイレにウォッシュレット機能の取

人形浄瑠璃「赤松座」復活プロジェクト



討 論

り付けで43万1千円となる。

●北山議員

防災服の使用目的がはっきりしない。たとえ小額としても、ちゃんと住民に説明ができるような、そういう根拠に基づいて予算計上をして頂きたいと言うことで反対する。

賛成討論無し

採 決 結 果

賛成多数で可決

(賛成7・反対4)

◆議案43号 平成28年度美波町国民健康保険事業補正予算(第1号)

(歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ1,793千円追加し歳入歳出の総額を1,235,164千円とした補正予算)

質疑

国保安定化計画策定委託料について、担当課で計画を作成できないか。

答弁

28年度については、職員と相談しながら取り組み、29年度も自力でできる方向で考えている。

◆議案44号 平成28年度美波町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

(歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ918千円追加し歳入歳出の総額を1,237,146千円とした補正予算)

◆議案45号 平成28年度美波町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)

(歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ234千円追加し歳入歳出の総額を235,208千円とした補正予算)

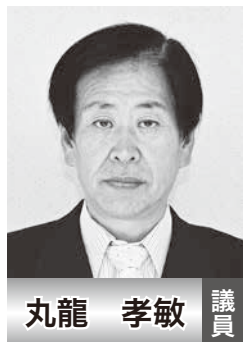
一般質問

一般質問では、地震による橋梁の耐震化・美波町教育大綱・旧由岐病院・日和佐診療所の跡地活用・テレビ中継システムなど、6人の議員が町の考えを質しました。

1 地震による橋梁の耐震化について

答 弁

順次進めていき、防災力を高める



議員 丸龍 孝敏

質 問

兵庫県南部地震、また最近の熊本地震では、高速道路や国道等、主要な幹線道路が甚大な被害を受け、その多くの道路や橋で桁の落下や橋脚の倒壊といった被害が発生している。このよ

うな道路や橋等の被災は、消防活動や緊急物資の輸送など救援・復旧作業に大きな影響を及ぼし、混乱をまねく可能性が大いに考えられる。そこで、美波町管理の橋の数は現在いくらあるのか、またそれらの耐震計画、耐震対策は出来ているのか、出来ていないのであれば、耐震化を進めて行かれるのかどうかをお聞きたい。

● 鶴木建設課長

現在、町管理の橋梁は209橋でこの内、一部の橋梁について、橋脚の巻き立てや補強・落下防止装置の設置等の耐震補強工事を実施し、落橋防止対策を行っ

ている。平成23年度から橋梁長寿命化修繕計画を策定し、国庫交付金事業にて修繕工事を実施している。

今後の取り組みとして、耐震構造と長寿命化対策工事等により、重大事故防止

高めたい。

● 影治町長

順次進めていき防災力を高めたい。

及び早期復旧の観点から、落橋防止対策を進めたいと考えている。

2 美波病院行きのバスの利用及び運行状況の改善

答 弁

検討していきたい

質 問

現在、日和佐診療所と美波病院間で美波バスが運行されている。多くの利用者の方からは「大変ありがたい」という声を頂いているが、その反面、残念なこともある。それは、先日町長提案理由での説明にもあった、利用者数が3月608名、5月現在では499名と減少している。町長提案理由の説明においては、主に由岐駅前から美波病院の利用者が多く、日和佐診

療所から美波病院までの利用者数は5月だけで20名と1日あたり1名の方が利用するか、しな

いかという状況であるとお聞きした。

今後、利用者の利便性を考えた上での運営方法を検討されていくのか、また案があるのであれば、お聞きしたい。

● 磯野総務企画課長
道の駅等への停留所設置について、民

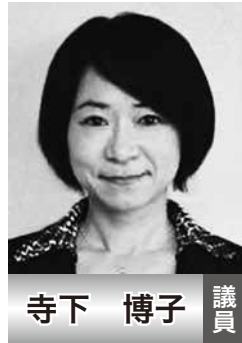


美波病院連絡バス

間委託も含め、検討したい。

1 災害への備えは十分な

答 弁 自主防災会では、避難所開設訓練及び運営訓練を予定している



議員 寺下 博子

マニユアルなど、対応策等の見直しは行うのか。
④ 災害対策本部の現状は。

● 近藤消防防災課長
① 点検運動については、周知は十分でない。

① 県が今年度実施している「毎月1点検運動」について、啓発等は行っているのか。

② 発災前に、リ災証明受付などの細かい事務も含めて、やるべきことを整理し共有できているかは、行政の役割として最も重要だと考えるが、3月議会以降の危機管理プロジェクトの取り組み状況は。
③ 被災時、指定避難所以外に避難している人への支援や、要介護者・要配慮者が入る避難所の運営はますます重要になる。地域防災計画や避難所運営

③ 今年度、自主防災会においては、避難所開設訓練を8月に、運営訓練を10月に予定しており、避難所運営マニユアルについても素案を作成し、訓練を行う中で見直しを行っている。
④ 役場庁舎は、新耐震構造のため地震時は機能するが、津波については浸水区域のため、使用不能になった場合は、日和佐中学校が代替施設となる。

● 山路副町長

② 個別対処危機管理マニユアルは、見直し作業が完了していない。早期の完成を目指すとともに、危機管理プロジェクトが十

分機能するよう努める。

2 「美波町教育大綱」と今後の取り組みは

答 弁 郷土を愛する人をつくる、という方針で、これまででもこれからも取り組む

質問

① 平成28年3月に「美波町教育大綱」が策定されたが、具体的な行動計画については、新たに策定するのか。

の教育行政の取り組みを伺う。

● 寺内教育長

① 具体的な行動計画を新たに策定する予定はないが、

② 平成27年12月に徳島教育大綱が策定され、人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくりとして、「チエーンスクール（分散型小中一貫教育）」と「パッケージスクール（一体型小中一貫教育）」が挙げられている。
本町の児童・生徒数の現況と将来的な推移を伺い、それらの内容や今後

「第2次美波町総合計画」と「美波町総合戦略」の教育分野に基づいて取り組む。

② 平成28年度の児童・生徒数は、中学校で144名、小学校で210名。昨年度から比較して、中学校で20名、小学校で18名、合わせて38名の児童生徒が減少している。この傾向は、今後も変わらないことから、学校の在り方について、対応や検討をしていく。

「チエーンスクール」「パッケージスクール」で示された徳島モデルは、校長配置のあるそれぞれの学校を関連づける小中連携教育を小中一貫教育としていることに独自性がある。

今後の県の調査研究成果を確認しながら、対応していききたい。



由岐小学校 ふるさと学習

①旧由岐病院・日和佐診療所の跡地活用は

弁 診療所跡地は公園に、病院跡地はこれから検討



議員 向山 篤宏

質問

美波病院は今年2月に完成、また医療保健センターは来春に完成予定であるが既存の旧由岐病院と日和佐診療所の建物の取り壊しや跡地の活用はどのように考えているか。

旧由岐病院

園と調和のとれた公園を予定している。旧由岐病院の建物の取り壊しについては付近に民家もあることから慎重に行わなければならない。旧由岐病院跡地利用については、今後どういう組



磯野総務企画課長

日和佐診療所の跡地については4月に住民との意見交換会を行い、基本的には隣接する児童館、デイサービスや親水公

織で検討するかも含めて検討を進めたい。

②公民館修繕費の地元負担は軽減できないか

弁 次回の契約更新時に減ずる方向で検討している

質問

各地域にある公民館の修繕費については、今後地元負担となることから、昨年12月の定例会で減額できないか質問したが、地元負担（30万円まで地元負担）について、その後の検討現状はどのようになっているか。

回契約更新時（平成30年4月）に地元負担額の見直しについて考えていきたい。

影治町長

平成30年度に地元負担額を減ずる方向で検討している。

坂本社会教育課長

教育委員会も、修繕費が地元負担となっていることは認識している。

指定管理契約している他の施設との兼ね合いもあるが、公民館の修繕費については、次



木岐奥公民館



1 テレビ中継システムの構築は

答 弁
様々な面から検討



議員 永本善次郎

会も緊張感を高めるために、積極的に傍聴や視聴を進めることが大切」と述べられている。今やテレビ中継は時代の常識となっている。町長の英断を求める。

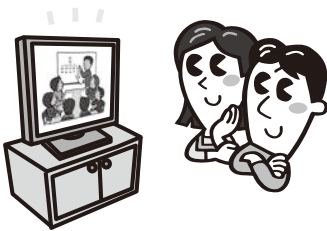
質問

県下24市町村の内15市町、阿南市では2017年度から放送開始、3分の2の市町がテレビ中継化が実現する。残念ながら本町は未完了の8町村の中に入り、時勢に取り残された感は否めない。徳島新聞によると鳴門教育大学の山中准教授はこの問題について「テレビ中継やネット配信は本会議、委員会とともに公開すべきだ。財政規模によって住民の知る権利が損なわれてはならない。多少の投資が要ったとしても、課題を共有して住民を行政に参加させることが肝要だ。住民も議

●影治町長

テレビ放送・インターネット配信が行われていない町村は県下24市町村の内3分の1の8町村で小規模自治体で財政余力がないことが大きな要因の一つである。テレビ中継については費用面や人的配置など様々な面から

検討が必
要である。



2 課の再編を求める

答 弁
課の分割は考えていない、必要に応じて対応

質問

産業振興課のみで本町の全産業、「農林水産業、観光業、商工業、SO、IT産業」などを完全に掌握することは、現実にかなり無理があると思う。後継者のいない農林水産業、廃業があいつぐ商業、伸びない観光業などの現実をふまえて産業振興課を2分割して1次産業と2・3次産業を専門化、深化させて発展につなげるべきだ。町長の所見を求める。

●影治町長

産業振興課は農・林・水産・商工・観光等と数多くの事業を抱えている課であるため、業務量の时期的増加に柔軟に対応できない恐れがあることから、現在は産業振興課の分割は考えていない。事務事業の対応と

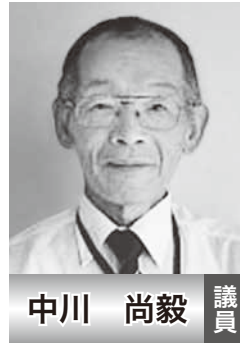
して、組織、体制づくりは必要に応じて進めて行く。



技術革新が求められる漁業

①臨時職員の年次有給休暇改善は

答 弁
他町の状況も見ながら判断



議員
中川 尚毅

調査したのか。美波町の臨時職員が何年働いても年休が10日のままであるというのは、労働基準法に違反しているのではないか。

●磯野総務企画課長

臨時職員の年次有給休暇について、板野町の制度を

して雇用した場合、年休を繰越できるようにしている。雇用の中断期間は設けてないということ。美波町の雇用方法とは違う。美波町は地方公務員法第22条5項により雇用している。1年限りの雇用であり、年休の繰越はできないと判断している。但し、年休の繰越については他町の状況も踏まえて研究する。

③美波病院の利便性向上について

答 弁
院内で協議して改善に向けて努力する

質 問

①美波病院の待ち時間が長いのを何とかして欲しいという声が多いが、利用者の利便性向上についてはどんな方針でいくのか。

また利用者の意見や苦情、相談を受け付ける窓口はあるのか。
②町の運営委員会は病院の適正な運営をするためにどのような活動をしているのか。

●橋本病院事務長

①利用者の声は、院内で協議している。今後も改善に向けて努力する。また相談については受付やスタッフにお願いしたい。事務長や総師長が持ち寄って改善して行く。

②巨大地震に備えて 仮設住宅の建設計画は

答 弁
町づくり計画策定事業の中で
検討して行く

質 問

南海トラフ巨大地震がいつ来るのか分からないが、もし起こればほとんどの家屋が流失すると思われる。外部からの支援が難しいと

考えるが、仮設住宅を建設するための計画はあるのか。また避難所となる施設はあるのか。

●近藤消防防災課長

平成28年度、事前復興ま

ちづくり計画策定事業の中で、地区ごとに検討して行く。避難所は、地域防災計画で指定避難所として、由岐地区6カ所、日和佐地区13カ所を指定している。今後は、近隣の市や町の体育館などの施設や民泊なども考えていく。



東日本大震災の津波襲来

●山路副町長

②国民健康保険病院運営委員会は、設置できていない。早急に検討する。

①美波病院、日和佐診療所の運営とサービス改善について

答 弁
 随時改善したい



議員 戎野 博

による受け入れ連携は図られているのか。

日和佐診療所からの送迎バスの利用が1日1人(5月、計20人)以下との報告ではあるが利用者数が少ない原因はなぜか。更に駅前や役場前等に出発地を増やす、低床バスの検討など利用しやすい取り組みをすべきでは。

日和佐診療所の外来患者数が約2割減ってきている要因と今後の収支改善策は。

●橋本病院事務長

美波病院の入院(6/13

診察待ち時間の短縮及び待ち時間表示等、サービス改善は出来ないのか。
 電子カルテ導入でどのようなサービス改善が図られたのか。

日和佐診療所及び介護施設等からの入院紹介、搬送

日現在33名)・外来患者減の当初の目標との差の主要原因は図りかねるが人口減や地理的利便性、専門医の受診等様々な要因が絡んでいると思われる。6月から月3回午後半日の脳神経外科の診察等により外来患者増

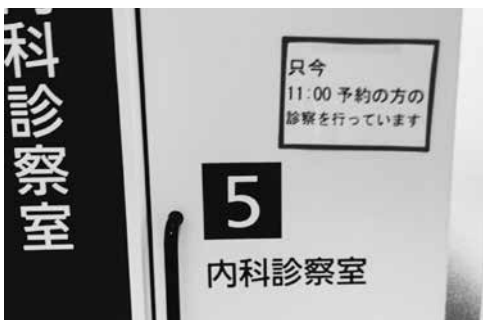
につなげていく。

収支改善策としては専門医確保による新規患者の確保、リハビリ部門の充実、常勤医師確保による入院患者増などを考えている。

診療所からの入院紹介、通院連携は行っており、町内介護施設からの入院は医師の判断で行い、全て受け入れている。

診察待ち時間対策として再診予約時間の設定、予約診察時間者の表示をしているが、更なる改善を進めたい。電子カルテ導入により会計や薬を渡す時間などが短くなった。

予約診療時間の表示



②企業・サテライトオフィス誘致と地域経済の活性化の取り組み効果について

答 弁
 移住者は33人であり、地域貢献など数値に表れない成果がある

質 問

IT(情報技術)企業の

SO(サテライトオフィス

：遠隔勤務できるオフィス

ス)が美波町13社誘致と

大きく報道され、地域経済

が活性化されているかの様

であるが、その実態、効果

が住民に理解されていない

のではないかと。地元産業の

企業、商店の存続のため

の支援・補助も大事で、こ

のままでは既存商店がなく

なっていくばかりと住民は

不安を持っている。

SO誘致による地元町民

の雇用は13社来て、安定雇

用は何人あったのか。転入移

住で何人増え、法人税を含

めた税収の増加の見込みは。

企業誘致で優遇(補助金)

を受けた企業の撤退時の協

約について操業義務付け期

間の規定や補助金返還制度の契約はどのようにしているのか。

●磯野総務企画課長

地方創生・起業支援制度の成果としてサテライトオフィスの成果としてサテライトオフィス(SO)誘致は「まめぞうデザイン」の3月進出で全体では13社となった。移住者数は33名(平成28年5月現在)、成果としては地域貢献など数値では表せない成果がある。

サテライトオフィスによる地元雇用は2人。小規模事業起業支援制度による全体の雇用者数は16人。

町の小規模事業起業支援事業の規定の中には補助金の支給の中止または返還の規定を義務付けている。

◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

議案	議員	結果
報告第2号 平成27年度 美波町一般会計繰越明許費繰越計算書について	全会一致	承認
報告第3号 平成27年度 美波町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について		
報告第4号 平成27年度 美波町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について		
議案第44号 平成28年度 美波町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第45号 平成28年度 美波町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）		

◆各議員の賛否（賛否の分かれた議案）◆

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案	議員名											結果	
	舛田 邦人	岩瀬 公	江本 昇	北山 朝彦	◎川尻 竹藏	松本 晋児	永本善次郎	寺下 博子	戎野 博	向山 篤宏	丸龍 孝敏		中川 尚毅
議案第42号 平成28年度 美波町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	×	—	○	×	○	×	○	○	×	可決
議案第43号 平成28年度 美波町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	可決

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。
採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

議長の主な活動状況

（平成28年3月定例会
～平成28年6月定例会）

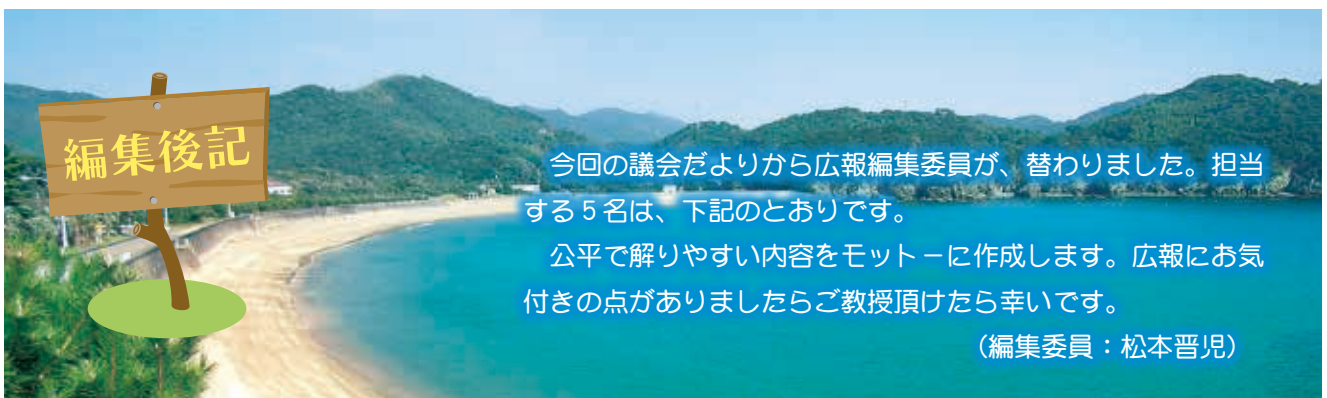
- 3月20日 阿南市合併10周年記念式典（副議長出席）
海陽町合併10周年記念式典
- 3月21日 県水産技術支援センター起工式
- 3月25日 海部郡町村議会議長会定例総会及び那賀・海部地区議長会議
- 5月24日 海部郡町村議会議長会定例総会
- 5月30日、31日 平成28年度町村議会議長・副議長研修会
- 5月31日 海部郡町村議会議長会財務省・国土交通省・県選出国會議員へ要望活動
- 6月3日 一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会総会

委員会活動

- 3月14日、24日、4月12日、18日、25日、5月2日、9日、13日、18日、19日、23日、24日、25日、26日、6月2日 議会広報特別委員会
- 3月16日 総務産業建設委員会（平成28年度当初予算他）
- 文教厚生委員会（平成28年度当初予算他）
- 3月26日（日和佐公民館）議会だより報告会
- 3月27日（由岐公民館）議会だより報告会
- 3月30日 テレビ中継特別委員会
- 4月18日、5月19日、20日 全員協議会
- 6月7日 議会運営委員会
- 総務産業建設委員会



山河内大越地区は、海部山脈（八郎山系）を背にうけた日和佐川の源流域です。
アメゴ等も生息する清流の川で、町内の上水道の源となっております。美しい水源と緑を見て清涼感を肌で感じて見ませんか、一度、お出かけになってはいかがでしょうか。



● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630へ)

委員長：松本 晋児 副委員長：寺下 博子 委員：舛田 邦人 委員：向山 篤宏 委員：丸龍 孝敏